

2023年度

二チイキッズこばり南保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024年1月15日（月）～2月2日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年2月29日（木）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」の保育理念及び給食方針を実現できるよう、日々の保育活動・行事の取り組みにおいて、子どもの興味や発達などに合わせた活動を工夫してきた。
子どもの発達援助	保育士から「子どもの気持ちに寄り添う」「安心感」「信頼関係」というキーワードが多く聞かれた。子どもの今の姿をしっかりと捉えると共に、次への興味や経験の広がりを含めた計画を作成・実践してきた。
保護者に対する支援	送迎時を利用して、保護者に丁寧に子どもの様子と成長の姿を伝えられるよう取り組んだ。今年度初めて「試食会と参観」を実践できたことは有意義であった。「個人懇談会」でも情報共有でき保護者との関係を深めることができた。
保育を支える組織的基盤	職員会議・園内研修において、職員皆で子どもの姿の見取りを深めてきた。また、外部研修の参加でスキルアップを図った。マニュアルの熟知と理解の上で保育の質向上を今後も目指したい。

総評
保育士のチームワークが良く、保育園全体で一人一人の子どもたちの成長を見守ってきた。 多面的な視野で子どもの姿の変化に気付くことで、子どもの興味の一歩先に配慮・準備する大切さに気付いた。個々の保育士が子ども理解を深め、時には悩みながら保育実践を積み重ねてきた。 次年度に向けて、日々の保育と共にマニュアルの熟知と深い理解が課題となる。 また、引き続き保護者とのコミュニケーションを大事にし信頼関係を深めていきたい。